

**平成26年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ジャマイカ緊急対応改善のための救急車整備計画」引渡し式**

1月20日、中野大使は、総督府にて行われた、平成26年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ジャマイカ緊急対応改善のための救急車整備計画」の引渡し式に出席し、セント・ジョン救急車ジャマイカ協会のアール・ジャレット理事長に鍵を渡し、6台の救急車を寄贈しました。

同協会所有の救急車5台のうち3台は老朽化が激しく使用困難な状態であり、2013年には1468件数の救急車要請がありながら、対応できたのは597件でした。このプロジェクトで、日本外交協会を通して日本から寄贈された6台の救急車が新たに加わり、セント・アンドリュー県とセント・メアリー県における緊急救命活動が改善されます。

当日の署名式へは、パトリック・アレン総督、ジャレット理事長、地方議会議員、保健省、消防署関係者など約150名が出席しました。アレン総督をはじめとする来賓、関係者の方々は、日本政府をはじめ、日本国民、日本大使館、日本外交協会に支援への謝意を述べ、寄贈された救急車を大切に使い、セント・アンドリュー、セント・メアリー両県の住民の緊急救命活動に尽力することを約束しました。

中野大使は、日本政府は国民の保護と自立を重視する人間の安全保障に基づき、ジャマイカの持続的な発展を支援しており、本件プロジェクトによってジャマイカの人々の安全保障の強化に貢献できることを嬉しく思うと述べました。また、中野大使は、昨年安倍首相の訪問により日本とジャマイカの友好が深まったことと、このプロジェクトを通じ、日本とジャマイカとの間の更なる関係の発展への期待を述べました。



アレソ総督のスピーチ



鍵の引渡し



(左から) ジャレット理事長、アレソ総督、本使